



第61期
株主通信

〈平成27年4月1日～平成28年3月31日〉



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第61期(平成27年4月1日から平成28年3月31日)の決算と経営の状況についてご報告申し上げます。

おかげさまで当社は、平成27年7月に創業60周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。これからも当社グループは、事業環境の変化に適切に対応しながら、社会へ貢献できる企業づくりに励むとともに、経営目標の達成に向け、努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご理解を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長

小野本孝二

当期の業績(平成28年3月期決算)について お聞かせください。

当社グループの主要事業が属するヘルスケア業界は、高齢者人口の増加を背景に、その市場は拡大傾向にあります。需要は堅調に拡大し、成長分野として注目を集める一方、参入事業者も多く、地域における競合や価格競争等も発生しております。

このような状況の中、当連結会計年度における当社グループの売上高は、コアセグメントである「健康生活サービス」「調剤サービス」において前年同期比増収を達成し、7期連続増収、過去最高を更新しました。利益面につきましても、人件費や資材費の増加などの利益圧迫要因があったものの、工場の燃料費の削減や生産性向上によって経費の伸びが抑えられたことなどにより、営業利益・経常利益は3期連続の増益で過去最高を更新し、親会社株主に帰属する当期純利益においても2期連続の増益となりました。

セグメント別にみてまいりますと、「健康生活サービス」では、病院関連事業およびシルバー事業において、主力であるレンタル商品売上が堅調に推移したことなどにより、前年同期比3.0%の増収、2.5%の増益となりました。

「調剤サービス」では、4店舗の新規出店による処方せん受付回数の増加や、新薬効果による処方せん単価の上昇により前年同期比17.8%の増収、12.1%の増益となりました。

「環境サービス」では、リースキン事業のトイレ周り商品や、ビル清掃管理事業での新規契約獲得があったものの、太陽光事業における商品売上の減少などにより、前年同期比5.3%の減収となりましたが、リースキン事業において前年同期に大幅な資材入れ替えを行った影響などにより、34.8%の増益となりました。

診療報酬改定により、調剤薬局は 「かかりつけ機能」が評価されるよう なってきました。

平成28年4月の診療報酬改定は、いわゆる門前薬局のあり方が問われる内容となっています。医療機関との信頼関係を強みに、門前に特化した展開をしてきた当社グループにとっては、大変厳しい状況となることが予想されます。しかし、たんぽぽ薬局では早くから在宅調剤業務に積極的に取り組み、門前薬局でありながら「かかりつけ薬局」としての機能もしっかりと果たしてまいりました。また、地域医療を支えるためには、医療機関との連携を強化することも必要

不可欠です。地域の中核病院の門前に構えるたんぼ薬局がこれまで築いてきた基盤を活かしながら、地域医療に貢献できる新たな薬局づくりに注力してまいりたいと考えております。

これからのヘルスケア業界において、トーカイグループが果たすべき役割とは。

当社グループは、創業以来多くの医療機関や介護福祉施設との信頼関係を築いてまいりました。また、近年は介護用品レンタルや在宅調剤などのサービスを通じて、在宅生活を続ける高齢者やそれを支えるケアマネジャーの方との接点も大きくなっています。

一方、これからのヘルスケア業界に目を向けると、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるように、あらゆるサービスが一体となって提供される「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、社会保障制度の改革が実行に移されてきています。こうした事業環境の変化は、前述の診療報酬改定など、当社の経営にも大きな影響をもたらす面がありますが、医療と介護のサービスがシームレスに提供されることが求められる現在においては、その両分野で幅広く事業を展開していることが、当社ならではの強みになっていると考えております。

こうした強みを有する当社グループだから

こそ、医療と介護の連携が求められる社会において、その橋渡し役を担うことができるはずです。「総合ヘルスケア企業」として、これからは「病院関連事業」「シルバー事業」「調剤薬局事業」を中心に事業間の連携をより一層強化し、「地域包括ケアシステム」を早期実現するための一翼を担ってまいります。

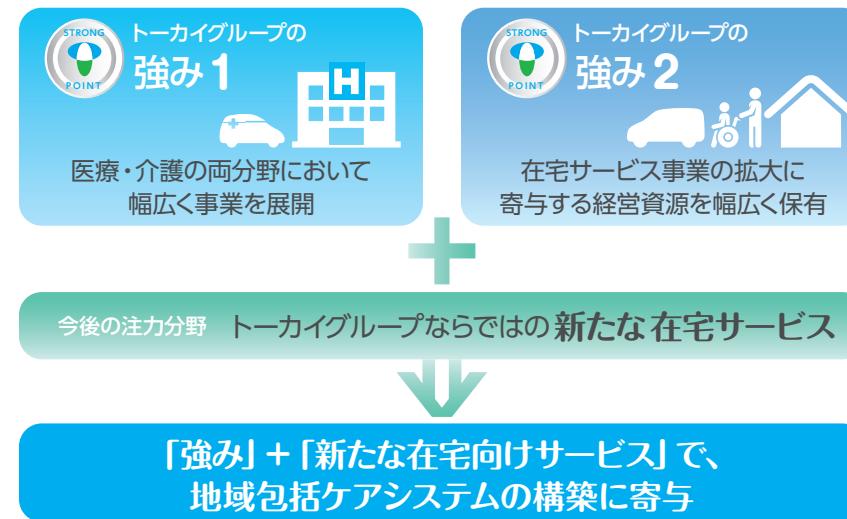
「総合ヘルスケア企業」としてどのような成長戦略をお考えですか。

ヘルスケア分野で幅広い事業領域を持っているとはいえ、リネンサプライや給食、清掃などの医療機関や施設向けのサービスを中心に事業を拡大させてきた経緯から、当社グループの在宅向けのサービスはまだ十分ではありません。

団塊の世代が後期高齢者となる平成37年(2025年)に向けて、在宅サービスに対する需要がますます高まる中、平成30年(2018年)には診療報酬と介護報酬の同時改定を控えています。そうした時代背景を鑑みると、これからの数年が当社にとっての大きな転換期になると考えております。

これからは「総合ヘルスケア企業」としての強みを活かし、在宅向け医療・介護サービスの新規開発に積極的に取り組み、当社ならではの「在宅医療・介護のトータルサポート体制」の確立に努めてまいります。

トーカイグループが果たすべき役割



当期は記念配当も実施されました。

当社は株主様に対する利益の還元を、安定的かつ継続的に行うことを重要な経営課題の一つとらえております。当期につきましては、おかげさまで創業60周年を迎えられたこともあり、期末配当において1株当たり1円の増配に加え、4円の記念配当を実施し、年間配当は1株当たり44円とさせていただきます。

また、株主優待につきましても、長年ご好評をいただいております「トーカイオリジナルカレー」のほか、本社を置く岐阜県の名産品の中から好きな商品を選んでいただけるように制度を変更いたしました。

引き続き、株主の皆様にとりまして、より魅力ある企業となることを目指してまいります。

最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社グループは、市場の拡大が続くヘルスケア関連事業に注力し、当期はついに連結売上高1,000億円を突破することができました。今後は、経営目標である連結売上高1,100億円、連結経常利益85億円の達成を目指すとともに、地域包括ケアシステムに寄与する「総合ヘルスケア企業」として企業価値の最大化に努めてまいります。株主の皆様におかれましても、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

連結決算ハイライト

売上高

前年同期比 **7.5%増**

「健康生活サービス」「調剤サービス」セグメントにおいて増収を達成。連結売上高は前年同期比7.5%増で7期連続の増収となり、過去最高の1,055億17百万円となりました。



営業利益

前年同期比 **5.9%増**

労務費・人件費の増加、レンタル資材費の増加等がありましたが、経費の伸びを抑えたことなどにより、前年同期比5.9%増の75億13百万円となりました。



親会社株主に帰属する当期純利益

前年同期比 **14.0%増**

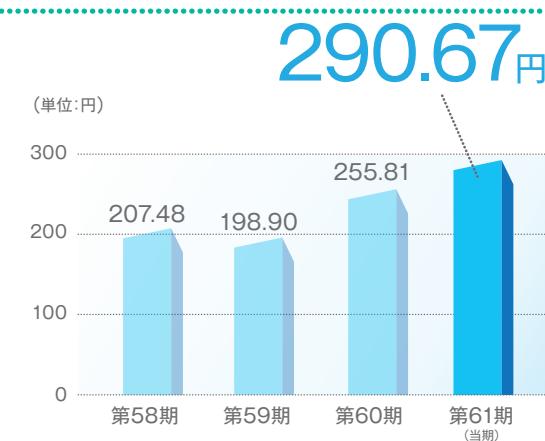
訴訟関連の特別利益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比14.0%増の52億26百万円となりました。



1株当たり当期純利益

前年同期比 **13.6%増**

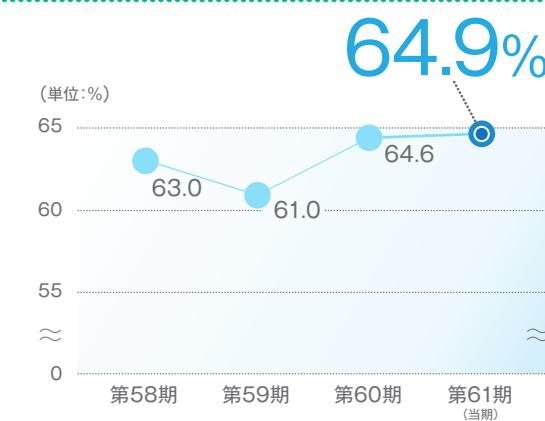
当期純利益と連動し、前年同期比13.6%増の290.67円となりました。



自己資本比率

前年同期比 **0.3ポイント増**

前年同期比0.3ポイント増の64.9%となりました。引き続き安定した財務基盤を維持しております。



1株当たり純資産

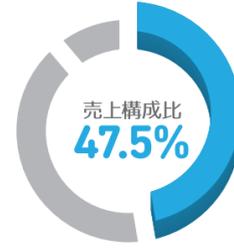
前年同期比 **8.9%増**

前年同期比8.9%増の2,891.60円となりました。



健康生活サービス

病院関連事業およびシルバー事業において
レンタル売上が堅調に推移。
また、売上原価等を抑えることによって
増収増益となりました。



病院関連事業およびシルバー事業において、
レンタル売上が堅調に推移したことにより、
前年同期比増収となりました。利益面につ
いては、営業力強化のための人件費の増加、
レンタル資材費の増加はあったものの、
他の売上原価等を抑えることにより前年
同期比増益となりました。

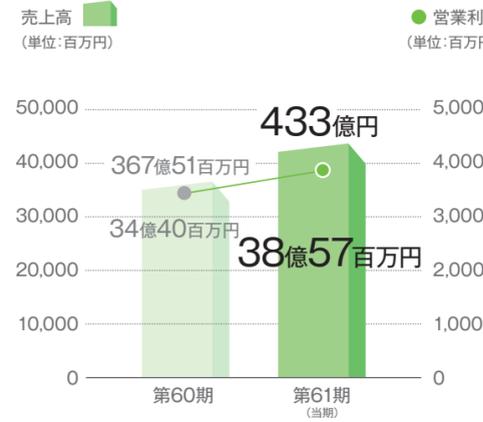
関西メンテナンス工場竣工 関西地方の事業拡大を図る



平成28年3月、京都府八幡市に関西メンテナンス
工場が竣工しました。介護用品レンタルにおいては、
従来の2倍の規模となるメンテナンスセンターの
機能を果たし、関西地方の事業拡大を担う、新たな
重要拠点と位置づけられています。また、これまで
関西地方には無かった病院リネンの洗濯設備を
整えることで、配送効率の改善などを図り、現在
関西地方で提供しているリネンサプライのサービ
品質向上にもつなげてまいります。

調剤サービス

新規出店効果および
処方せん単価の上昇によって
増収増益となりました。



119店舗の事業展開となり、当期4店
舗、前期8店舗の新規出店効果および
処方せん単価の上昇により前年同期比
増収となりました。利益面については、
薬剤調達コストが前年同期において
一時的に減少した反動によって増加した
ものの、増収による利益増等により、
前年同期比増益となりました。

在宅調剤の推進で地域の「かかりつけ薬局」へ



創業以来、大病院の門前に特化した出店を行って
いるたんぼ薬局では、平成24年から「在宅調剤」
への取り組みを推進しています。門前でありながら
も「かかりつけ薬局」としての役割を果たすべく、
現在では7割以上の店舗で在宅調剤業務を行う
体制を整えています(平成28年3月末時点)。地域
全体で患者の皆様の在宅生活を支えるという社会
的使命の実現に向け、これからも地域医療に貢献
できる薬局づくりを積極的に進めてまいります。

環境サービス

リースキン事業および
ビル清掃管理事業における
新規契約獲得等によって増益となりました。



リースキン事業およびビル
清掃管理事業における新規
契約獲得の一方、太陽光事業
における商品売上の減少等
により、売上高は前年同期を
下回りました。利益面につ
いては、リースキン事業にお
いて前年同期に大幅な資材の
入れ替えを行った影響により
前年同期比増益となりました。

リースキン新商品のご紹介



サニタリーボックス「ルーナス」TVCM放映開始



ダストコントロール市場が縮小傾向にある中、
リースキンではトイレ環境の快適化提案に
注力しています。中でも、昨年からの取り組み
を開始した自動開閉式のサニタリーボックス
「ルーナス」の普及促進を図るため、今年5月より
期間を限定してTVCMの放映が開始され
ました。「ルーナス」およびリースキンブランドの
さらなる周知により、新たな顧客獲得に努めて
まいります。

連結財務諸表 (平成28年3月31日現在)

連結貸借対照表 (要約) (単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当連結会計年度 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産	39,678	41,568
固定資産	34,187	38,683
有形固定資産	24,245	26,775
無形固定資産	713	736
投資その他の資産	9,228	11,171
資産合計 ポイントA	73,865	80,252
負債の部		
流動負債	20,895	22,647
固定負債	5,043	5,345
負債合計 ポイントB	25,938	27,993
純資産の部		
資本金	8,108	8,108
資本剰余金	4,744	4,779
利益剰余金	33,510	37,982
自己株式	△ 67	△ 23
株主資本合計	46,295	50,845
その他有価証券評価差額金	1,388	1,201
退職給付に係る調整累計額	5	1
その他の包括利益累計額合計	1,393	1,202
新株予約権	16	3
非支配株主持分	220	207
純資産合計 ポイントC	47,926	52,259
負債純資産合計	73,865	80,252

連結損益計算書 (要約) (単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
売上高	98,159	105,517
売上原価	74,825	80,978
売上総利益	23,334	24,539
販売費及び一般管理費	16,241	17,025
営業利益	7,092	7,513
営業外収益	375	337
営業外費用	129	124
経常利益	7,338	7,727
特別利益	161	370
特別損失	187	82
税金等調整前当期純利益	7,312	8,014
法人税等	2,716	2,801
当期純利益	4,596	5,213
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	10	△ 12
親会社株主に帰属する当期純利益	4,586	5,226

ポイント解説

- A** 総資産は、主に関西メンテナンス工場の完成などにより建物及び構築物が21億50百万円増加、子会社への発電設備資金の貸付などにより長期貸付金が16億2百万円増加等により、前期末に比べ63億87百万円増加し802億52百万円となりました。
- B** 負債は、支払手形及び買掛金、および未払法人税等の増加等により、前期末に比べ20億54百万円増加し、279億93百万円となりました。
- C** 純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことなどにより、前期末に比べ43億32百万円増加し52億59百万円となりました。その結果、自己資本比率は64.9%となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)
ポイントD 営業活動による キャッシュ・フロー	7,392	8,170
ポイントE 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,696	△ 6,842
ポイントF 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,142	△ 653
現金及び現金同等物に 係る換算差額	42	△ 7
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	3,595	667
現金及び現金同等物の 期首残高	14,987	18,817
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	234	—
現金及び現金同等物の 期末残高	18,817	19,485

- D** 営業活動により得られた資金は、前年同期比7億78百万円増加し、81億70百万円(前年同期比10.5%増)となりました。これは、主にたな卸資産の増減額が9億69百万円減少したものの、仕入債務の増減額が23億30百万円増加したことおよび法人税等の支払額が10億42百万円減少したことなどによるものです。
- E** 投資活動により支出した資金は、前年同期比41億45百万円増加し、68億42百万円(前年同期比153.7%増)となりました。これは、主に有形固定資産取得による支出が18億81百万円および貸付による支出が14億70百万円増加したことなどによるものです。
- F** 財務活動により支出した資金は、前年同期比4億89百万円減少し、6億53百万円(前年同期比42.8%減)となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出が3億81百万円減少したことなどによるものです。

トピックス

株主優待制度が新しくなりました!

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力さをさらに高めることを目的として、今年度より株主優待制度を拡充いたしました。

新しい株主優待制度は、平成28年3月31日時点において100株以上当社株式を保有されている株主様より適用さ



れます。概要につきましては、本株主通信裏表紙または対象株主様に別途お送りしております「株主優待のご案内」等をご確認ください。

主な変更点

- ・当社株式を1年以上保有されている株主様は、当社オリジナルカレーもしくは岐阜県産の名産品の中から、好きな商品を一品ご選択いただけるようになりました。
- ・すべての対象株主様に、社会貢献団体への寄付をご選択いただけるようになりました。



今年度は日本赤十字社を通じて国内災害義援金として寄付を実施する予定です。

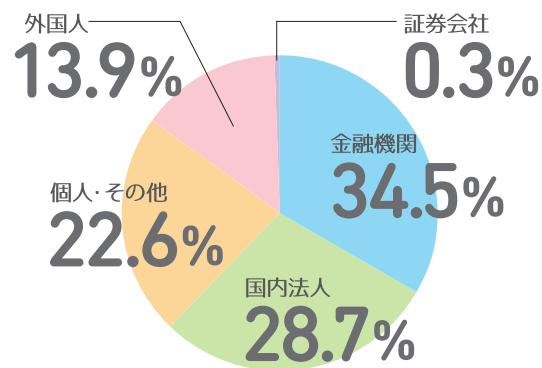
今回の株主優待制度変更に伴い、株主優待品のお届け時期が従来の「6月初旬頃」から「8月中旬以降」に変更となっております。

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	普通株式 57,000,000株
発行済株式の総数	普通株式 18,020,673株
株主数	2,863名 (自己株名義含)

所有者別状況



配当政策

当社は、企業価値の向上および株主価値の最大化を図るべく、事業拡大のための必要な投資資金を確保するために内部留保を手厚くすると同時に、株主様への利益配分につきましては経営上の最重要課題と認識し、業績に応じて安定的な配当を継続することおよび総還元性向15%を目安とし、配当金額を決定することを配当政策の基本としております。また、当社は中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うこととしております。

配当状況

(単位:円)

期別	平成26年3月期		平成27年3月期		平成28年3月期		平成29年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間(予定)	期末(予定)
年間配当額	32		39		44		40(予定)	
普通配当金	16	16	16	23	19	21	20	20
	—	—	—	—	—	4	—	—
記念配当金	—		—		—		—	

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)小野木興産	2,820	15.66
トーカイ共友会	725	4.03
(株)大垣共立銀行	710	3.94
(株)十六銀行	705	3.91
岐阜信用金庫	672	3.73
(株)三菱東京UFJ銀行	669	3.72
小野木孝二	551	3.06
(株)北陸銀行	525	2.92
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	488	2.71
トーカイ従業員持株会	436	2.42

(注) 持株比率は、自己株式(20,796株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

会社の概況 (平成28年3月31日現在)

会社の概況

会社の設立	昭和30年7月21日
資本金	8,108百万円
本社	岐阜県岐阜市若宮町九丁目16番地
羽島本部	岐阜県羽島市正木町須賀赤松2627番地
事業所数	72拠点
工場数	7工場
従業員数	2,762名(連結)

取締役 (監査等委員である取締役を除く。)(平成28年6月29日現在)

代表取締役社長	小野木 孝二
専務取締役	白井 忠彦
常務取締役	白木 元朗
取締役	多賀 慎一郎
取締役	堀江 範人
取締役	広瀬 章義

監査等委員である取締役 (平成28年6月29日現在)

取締役	山田 豊
取締役	磯部 文雄
取締役	洞田 律男

(注) 取締役磯部文雄氏および洞田律男氏は、社外取締役であります。

重要な子会社の状況

会社名	資本金 (百万円)	議決権の 所有割合(%)	主要な事業内容
(株)トーカイ(四国)	56	100.0	病院関連事業および 寝具・リネンサプライ事業
(株)ブレックス	10	100.0 (100.0)	クリーニング設備の製造 および販売
トーカイフーズ(株)	12	100.0	病院給食事業
(株)サン・シング東海	100	51.0	布団製造
(有)山本綿業	53	100.0	寝具・リネンサプライ事業
たんぼぼ薬局(株)	693	100.0	調剤薬局事業
(有)レベルアップ	3	100.0 (100.0)	医薬品卸売事業
(株)ティ・アシスト	10	100.0	ビル清掃管理事業
(株)ビルメン	30	100.0 (100.0)	ビル清掃管理事業
大和メンテナンス(株)	10	100.0	リースキン事業
(株)リースキンサポート	30	100.0	マット・モップ等の配送 および交換
(株)日本情報マート	30	99.7	中堅中小企業向け 経営コンテンツ提供事業

(注) 議決権の所有割合は間接保有分を含めており、()内は、内書で間接保有分であります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当／毎年3月31日 中間配当／毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〈電話〉0120-782-031 (フリーダイヤル) ※取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
一単元の株式の数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部

公告方法 電子公告によります。
ただし、電子公告によることができない
やむを得ない事由が生じた場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。
電子公告のホームページアドレス
<http://www.tokai-corp.com/finance/>

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

「配当金計算書」について

配当金支払の際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用していただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

ホームページのご案内

トーカイのホームページでも、IR情報（投資家様向け情報）をご覧いただくことができます。ぜひ、こちらもご利用ください。

<http://www.tokai-corp.com/finance/>

株主優待

毎年3月31日現在、株主名簿に記載された株主様に対し、その時点における保有株式数および保有期間に応じて、下記の基準のとおり株主優待品を贈呈いたします。

保有期間1年未満の株主様



100株以上 1,000株未満	トーカイオリジナルカレー 3人前
1,000株以上 10,000株未満	トーカイオリジナルカレー 9人前
10,000株以上	トーカイオリジナルカレー 15人前

保有期間1年以上の株主様

100株以上 1,000株未満	トーカイオリジナルカレー 3人前 もしくは 岐阜県の名産品 (1,000円相当) の中から一品選択
1,000株以上 10,000株未満	トーカイオリジナルカレー 9人前 もしくは 岐阜県の名産品 (3,000円相当) の中から一品選択
10,000株以上	トーカイオリジナルカレー 15人前 もしくは 岐阜県の名産品 (5,000円相当) の中から一品選択

岐阜県の名産品の一例



飛騨の駄菓子 (1,000円相当)



明方ハム (3,000円相当)



富永柿 (5,000円相当)

優待品の贈呈に代えて、**社会貢献活動への寄付を選択することができます。**